

事業者名	対象サービス名など(各事業者からのお知らせ事項をそのまま掲載しています)
アールシーソリューション(株)	ゆれくるコール スマートフォン、タブレット端末、セットトップボックス等へ緊急地震速報受信アプリ「ゆれくるコール」をダウンロードし、設定メニューの訓練にて「参加する」を選択している端末が対象です。
安全・安心サポート(株)	「緊急地震速報受信クライアント、緊急地震速報中央演算端末」 訓練報を受信されるには御申込が必要です。詳細は弊社担当者までお問い合わせください。
(株) エイツー	HomeSeismoサービスを受けているHS302P、HS301シリーズの端末で、訓練報を受信する設定にした端末に配信します。 詳細は当社ホームページ(http://hs.a-2.co.jp/eqUser/view/open/info160916.html)にてご確認ください。 ※スペシャルプランJMAにて、気象業務支援センターから直接緊急地震速報を受信されているお客様は、訓練報の配信についてお客様のご担当者様にご確認ください。
(株) かなめ技術開発	緊急地震速報活用防災システムKANAME-QUICKシリーズ(旧ASU-QUICKシリーズを含む)と告知放送システムは対応。 ただし、契約の配信事業者ごとに状況が異なりますので、当社担当者までお問い合わせください。
スカパーJSAT(株)	詳細は当社ホームページにてご確認ください。 https://safetybird.jp/
ストラテジー(株)	対象製品名: SignalNow、SignalNow Lite 弊社SignalNow製品シリーズの内、ハードウェア製品SignalNow、SignalNow Liteで、機器の設定項目「気象庁訓練報受信」が「する」と設定されている端末機が訓練の対象です(製品取扱説明書もご参照ください)。 訓練報を受信後、通報震度、猶予秒数の計算を行い通報動作を行います。 なお、ソフトウェア製品(SignalNow Express, SignalNow Professional)は訓練の対象ではございません。 その他、ご不明な点は弊社製品をお求めになった販売特約店へお問い合わせください。また、お問い合わせの件が解決しない場合は、弊社までお問い合わせください。
(株) センチュリー	詳細は当社ホームページにてご確認ください。 http://www.century.co.jp/topics/jisin-kunren-161104.html 2016年11月4日 気象庁 緊急地震速報訓練のご案内
(株) ドリームウェア	緊急地震速報受信機: DPASS プログラムのバージョンにより訓練報対応、非対応がございます。 詳しくは、下記お問い合わせフォームよりお問い合わせください。 http://www.dpass.jp/contact.html
南海電設(株)	iamネット緊急地震速報配信サービスを受けているQCAST受信端末装置で、気象庁訓練モードが「参加」設定になっている端末が対象になります。設定により、館内放送等の連動制御も可能です。
三菱スペース・ソフトウェア(株)	MJ@lert(エム・ジェイ・アラート)
三菱日立パワーシステムズ(株) 日立工場	
リアルタイム地震・防災情報利用協議会	

注1) この表は掲載に同意していただいた事業者を50音順に記載しています(10月7日現在)。
受信端末をご利用の方で、緊急地震速報の配信にかかる契約をしている事業者から訓練に関する周知等案内がない場合は、契約先あて、訓練報の配信の状況をご確認ください。

注2) 掲載に同意された事業者があれば、順次、この表に追加していきます。